

## 「堂々川ホタル同好会」を訪問しました

大型連休の前日、4月26日（金）の11：00頃、少々天気不安の中、福山市北東部の神辺町の山の中にある堂々川公園を訪ねました。

この日は、地域の中条小学校の3～4年の児童が遠足の一環で小学校から山越えて現地に来て、彼岸花の球根600球を植え、ホタルの幼虫の餌になるカワニナ貝を放流しました。同好会メンバーの人たちは、早くから現地で準備して待っておられました。また、小学校の近隣ボランティアの人たちが、先生方と一緒に児童の遠足をサポートしながら、現地にとられました。子供たちが予定時刻を過ぎても到着せず、同好会の方々は少々心配そうに待たれていましたが、30分遅れて漸く元気な声が聞こえてきました。



事前に作業の説明を聞いているところ



川の法面に球根を植えているところ



カワニナ貝



カワニナ貝を放流しているところ

### <堂々川ホタル同好会>

発足当初（2006年）の目的は堂々川にホタルをたくさん飛翔させる事でしたが、活動を始めてみると、不法投棄で谷からは黒い水が流れ、堂々川の砂防堰堤＝砂留は草茫茫でした。丁度そのころ、この砂留が登録有形文化財に認定されたので、堂々川を綺麗に保つために、ホタルを1000匹以上飛ばすことと、彼岸花を広島県トップレベルの数と花色日本一にすることを目的としています。この活動を近隣のいくつかの小学校と一緒に行うことで、小学生の郷土愛につなげています。今年も6月にホタルが飛び交ったそうです。